

## 令和6年度 11月定例会会議録

- ◎招集年月日 令和6年11月22日(金)
- ◎開催日時 令和6年11月27日(水) 午後1時30分～午後3時22分
- ◎場所 伊那市役所 庁議室
- ◎出席委員 福與教育長、北原教育長職務代理者、田畑教育委員、黒河内教育委員、宮坂教育委員
- ◎欠席委員 なし
- ◎出席職員 三澤教育次長、唐澤学校教育課長、北林子ども相談室長、矢澤生涯学習課長、早川市誌編さん室長、小島社会教育指導員、小松指導主事、酒井指導主事、伊藤教育総務係長

### 1 開 会

#### 2 あいさつ 教育長

- ・教育課程研究協議会について、来年度については主催者である県教委より、1回協議会を休み、それぞれの地域でどうするか考える年とする提案がなされている。
- ・上伊那では、上伊那校長会の代表者数名が来庁し話を聞いたところであるが、今まで上伊那では授業を見合っ、実践を通して学ぶことを大事にしてきているので、何か授業を互いに見合えるような場は来年も大事に考えたいということだった。
- ・上伊那の先生方が実践してきたことであり大事にしていってくださいということで、最終的にどんな形にしていくか検討されていると思う。
- ・上伊那では授業を見合うところを大事にしてきたところであり、なかなか実際にこういう時間が取れなくなっていることも現状だと思うが、それをどう生み出していくかは大事であり、先生方も実践の中でしっかり自分たちを磨きたいという気持ちを持っていることにほっとし、一生懸命応援したい気持ちになった。

#### 3 委員の一言 北原委員「上伊那地理歴史唱歌全について」

#### 4 会議事項

##### 第1 教育長報告

- ・11月3日には伊那市表彰式典があり、笠原前教育長にもお越しいたいただき、表彰させていただいた。
- ・9日にはいろいろな催し物があり、伊那北駅前広場や伊那北公園、セントラルパークの3ヶ所では、伊那北駅周辺の再開発に関わり、14人の高校生たちが実行委員会を立ち上げ、田畑さん、伊那市商工会議所の皆さんがサポートをしてくださり、「17とりどりまつり」が行われた。
- ・実行委員長は、さくら国際の高校生であり、この会についてきちんと話をしてくれた。この子は中学生の頃、もしかしたら不登校だったり、学校に行きにくさを持っていたりしたのかなと思いつながら、自分の考えをきちんと述べてくれたことに感激した。改めて義務の学校の中で、こういう子たちの居場所をきちんと用意できていないこともあるな、あるいは地域社会の中にもそういうものが必要だなと感じた。
- ・長谷地区の生涯学習講演会で2代目林家木久蔵さんの2代目の講演、ニシザワホールでは伊那市人権同和教育講座講演会で全盲の弁護士の大胡田誠さんの講演があった。せっかくの機会であり、来年は被らないように開催できればと思う。大胡田さんは東京から1人で電車に乗られて来られたということで、またの機会を楽しみにしたい。
- ・13日には、フィンランド北カレリア県代表の皆さんが見えられた。レセプションで知事とお話させていただく中で、ぜひまたフィンランドの教育に学びたいと思っていると話をしたら、フ

インランドでは 20 年前に比べると、かなり現状厳しくなっているということだった。また、共有できる場所もあり学ぶところもあるだろうと思う。

- ・ 11 月 14 日には、税務署主催の納税表彰式があり、中学生の部では伊那中学校の生徒が全校納税貯蓄組合連合会長賞を受賞し、来月 12 日には伊那税務署で 1 日署長をやることになった。
- ・ 高校生の受章者は 2 名で、2 人とも偶然医療に関わりがあり、1 人は薬はいつも余分にもらってきたが、その薬に税金が払われていることを知り、自分は今までまづかったなと感じた。
- ・ もう一人は母が突然入院したが医療費が安く済んでとても助かった、という作文を発表してくれた。生活の中で感じる場所がないと、税の話はなかなか心には入っていかないところがあると思った。
- ・ 11 月 16 日には、中村弥六、中村元恒の子の元起の子になるそうですが、布引丸事件があり、その時に、本人がやったことではなかったが、何の弁解もせず全部責任を取って職を辞したということがあり、それを 20 年前に NBS がドキュメンタリー番組にして放送したものをもう一度見ようということで、シンポジウムを開いたということだった。
- ・ 11 月 12 日には伊那能があり、前日には今までお世話になっていた酒井音重先生が今年の 3 月に亡くなられたということで、息子さんに伊那市表彰を伝達させていただいた。
- ・ 能楽師の人間国宝になっている山本東次郎さんとお話することができ、その言葉がとても印象的だった。自分の父親が亡くなった時、早く父親と同じぐらいのレベルにならなきゃいけないと焦った、練習しても父には絶対に追いつけないと思った、そうしたらある言葉に出会った。
- ・ 「師を求めず、師の求める場所を求めろ。」これに出会った時に、自分は初めて父親を目指すのではなく、父親の目指そうとしていたところを、まわり道でも良いが、そこへ向かうことが大事だと思ったそうです。本当に貴重なお話をお聞きでき、良い言葉に出会えたと思う。
- ・ 11 月 18 日には総合子ども支援会議があり、市長、副市長、そして私、教育委員会事務局、保健福祉部の関係者が集まる会議があった。来年には子ども部もできるので、来年度についての情報共有、意見交換をする場となった。
- ・ 11 月 21 日、中学生キャリアフェスを無事に終えることができた。片付け終わり、最後に 12 人の実行委員が一言ずつ述べた後に、黒河内さんから一人一人に、この間にどれだけ成長したか、こういう姿が良かった、という話があり、子どもたちが自己評価をする場所に重ねて、他者評価をしていただき、とても心に残った。
- ・ 学校現場でも大事にしているが、やはり大人が関わる必要があると改めて感じた。
- ・ 11 月 25 日には、教職実習ということで信大農学部へ行った。26 人の学生が聴講し、そのうち 3 人が教職へ進むということだった。以上報告とさせていただきます。

## 第 2 報告事項

### (1) 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について

- ・ 生涯学習課長から資料に基づき説明  
(質問・意見なし)

### (2) ICT Conference2024 in INA の実施報告について

- ・ 学校教育課長から資料に基づき説明
- ・ 教育長「動画はいつまで見られか。」との質問があり、学校教育課長から「期限なく見られる。」との回答があった。

### (3) 人権同和教育事業について

- ・ 社会教育指導員から資料に基づき説明  
(質問・意見なし)

(4) 市誌編さん事業の進捗状況について

- ・市誌編さん室長から資料に基づき説明
- ・教育委員から「二次元コードの差込予定はあるか。」との質問があり、市誌編さん室長から「ホームページの情報を使う場合があり、二次元コードをつけることを考えている。紙面からどのようにしていくか、仕組みを整える中で検討している。」旨の回答があった。
- ・教育委員から「参照している資料は図書館にあり、市誌を見た人がこの資料に深くアクセスしたい時に、図書館の原本につながる仕組みがあると活用の幅が広がると思う。」との意見があり、市誌編さん室長から「高遠図書館にこういう資料があること初めて知った。どこにどういう資料があるかということは、原稿を書いた方が承知しており、オープンにしていくことが大事だと思う。」旨の回答があった。
- ・教育長職務代理者から「小松傳一郎さんは高遠閣の建設にも携わっているが、市誌での扱いはどうか。」との質問があり、市誌編さん室長から「関連のところで考えたい。」旨の回答があった。

(5) 来月以降の文化施設の行事日程について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明  
(質問・意見なし)

(6) 共催・後援について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明  
(質問・意見なし)

5 その他

(1) 今後の主な日程について

(2) 来月以降の主な行事予定について

- ・三澤教育次長から(1)から(2)まで、資料に基づき説明

6 閉 会